

自然の恵みを暮らしに活かす時代がやってきました ちょっと“みちくさ”しませんか



森にふれる機会が少なくなっていますか。また、森から遠ざかっていませんか。すべての生きもののいのちの源は森だということをご存知ですか。私たちの暮らしは森と一緒に成り立っています。

森は酸素をつくり、水を蓄え、土砂流出など防いでいます。“ブナ一本で一反の田を潤す”とも言われています。各地の魚付林の海には魚が集まり、アムール川から運ばれたプランクトンは豊かな漁場をつくっています。また、ミネラルが多い水は田の稲に元気を与え、私たちの主食を育てています。

写真、画家、音楽などの芸術家は自然の輝きや雄大さそして厳しさに感動し、それをアートに創作しています。また、生きて300年の木は伐られても1千年以上の建物になって生きています。ミツマタやコウゾで作られた和紙は何百年経ても、先人たちのメッセージを現代人に伝えています。ヤマグワの葉を食べた蚕はマユに変身し、何十年、何百年後でも着られる絹を私たちにプレゼントしています。

2011年3月11日の東日本大震災と原発事故は、そんな自然（森）の脅威に畏れ、自然の恵みに敬う心を教えてくれました。原子力発電の恐ろしさを沈静化するのも原始力（淡水）でありました。放射能を吸収・固定してくれるのも自然力でした。自然の恵みを暮らしに活かす時代がやってきました。原発に頼らない暮らしと社会は、科学や技術の発展により自然を支配できるという考えを反省し、私たちの“森と生きる心”を育むことから始まります。

私たちが森に生かされていることの有り難さ、色々な感動を与えてくれる森の素晴らしさを“みちくさ”で体験してみませんか。そのお手伝いをさせていただきます。

(裏面を参照してください)

職場レク、幼稚園の授業、仲間たちのレクにお邪魔します！



■ 森と生きる心と技を育む “みちくさ”

- ・名称：四季の「出前！みちくさ広場」、四季の「みちくさ広場」
- ・内容：自然の恵みの有り難さと素晴らしさ、そして森の息吹を身体で感じる遊びを室内外で体験。
- ・場所：希望者が希望する場所又は足尾・松木沢
- ・時間：希望者と応談の上決定。
「出前！みちくさ広場」の場合、室内では1時間程度、フィールドでは半日程度の時間。
- ・費用：無料。
ただし、スタッフの交通費は希望者の負担。オプションに係わる費用は自己負担。

例：「出前！みちくさ広場」

- ・夏の「出前！みちくさ広場」内容は、森（樹木）の機能を考え、私たち人間は森に生かされていることを実感していただきます。秋、冬、春に実施します。



○○○○○○○○○○○○○○○○



○○○○○○○○○○○○○○○○

例：「みちくさ広場」

- ・「みちくさ広場」は、足尾・松木沢フィールドで遊びます。四季の松木沢を散策して、森の素晴らしさと有り難さを体験します。
- ・「秋のみちくさ広場」は、栗、柿、どんぐり等の実物に触れて、改めて自然の恵みの有り難さと素晴らしさを体験します。冬、春、夏に実施します。

※オプション：旬の食材で昼食を作り、全員で会食する用意もできます。（BBQできます）



■問い合わせ先 TEL・FAX 03-5692-4900

NPO法人森びとプロジェクト委員会 東京事務所

〒114-0013 東京都北区東田端1-12-24 二美ビル201号室

E-mail info@moribito.info